

東海畜産学会
平成 19 年度シンポジウムのお知らせ

本年度のシンポジウムを下記のテーマで行います。

東海畜産学会長 伊藤慎一

日 時：平成 19 (2007) 年 7 月 6 日 (金) 13:50 ~ 16:40
会 場：名古屋国際センター 5 階 第一会議室 (84 席)
交 通：J R 名古屋駅から東へ，地下街を徒歩で 7 分

平成 19 年度シンポジウム：

テーマ『遺伝資源としての和牛 ブランド肉と食文化 』

- 13:50 ~ 14:00 テーマおよび座長の紹介 (会長)
座長：中丸輝彦 (元岐阜県肉用牛試験場長)
講演および講演者の紹介 (座長)
- 14:00 ~ 14:35 講演 1：伸びゆく新興ブランド「飛騨牛」の銘柄化戦略
野邑 仁
(全国農業協同組合連合会岐阜県本部畜産部長)
- 14:35 ~ 15:10 講演 2：熊本「あか牛」の特性とそのブランド化に向けて
住尾善彦
(熊本県農業研究センター畜産研究所生産基礎技術研究室長)
- 15:10 ~ 15:45 講演 3：南部牛由来の「短角牛」のヘルシーブランド化
山岸敏宏
(奥州市牛の博物館長)
- 15:45 ~ 16:00 休憩
- 16:00 ~ 16:40 総合討論
座長：中丸輝彦，山岸敏宏

問合せ先：岐阜大学応用生物科学部
土井 守 (東海畜産学会庶務幹事)
TEL: 058-293-2872, FAX: 058-293-2872
E-mail: doi@gifu-u.ac.jp